

無人化が至る所に広がるこの時代に、ローソンとKDDIは高齢化の進む団地で「人と話せる店」を始めました。売っているのは商品だけでなく、会話や相談にも応じてくれるとか。買い物が便利になるほど、店員と話せることが新しい価値になるようです。商売は、ときに時代へ逆らうくらいが新しいのかもしれませんね。

カープに望みはあるか *Carp*

爽涼の秋となり、少し過ごしやすくなってまいりましたが、爽やかな秋とはいかず、ジメジメと蒸し暑い日が続いています。実りの秋を少しでも長く楽しむため、気温の変化が激しいこの時期、服装選びに気を配りましょう！

さて、我らがカープ。

8年連続V逸が決定した。分かってはいたが、決定してしまうと悲しい。9/13、先発森は4回1死二塁からオスナに先制2ランを浴びて降板。5回から積極的な代打策と継投策で攻めの姿勢を見せたが、追いつくことはできなかった。3位DeNAとの差も9.5ゲームに広げられ、CS進出の可能性もさらに薄くなった。

その前のDeNA2連戦。森下と栗林といういわゆる「NPB球界の顔」と言ってもいい投手が先発した試合で、合計25安打を打ちまくられて13失点。かたや「DeNAの新顔・新戦力」の投手が先発した試合で共に7回まで無失点に抑えられ、まともな打球が前に全く飛ばぬ情けない鯉打線。二日続けての惨敗。土曜日のデーゲームで、久々に満員になったマツスタを埋めるファンにとって、あまりにもつまらない試合となった。

やはりチーム内がゴタゴタしていて選手が試合に集中できていないのか、このところ急激に「つまらない試合」が増えている。決して、弱くて負け試合ばかりなのでカープの試合を見るのがツライ、ということではなく、単純に内容がつまらない試合ばかりなので見るのがツライ、ということだ。いつかの試合中継で「戦う顔がない」と指摘した解説者の記事が出ていたが、正にそういうところだ。

そして消化試合は見たくないが、来季に向けて消化試合を始める、いやもう始めたというのであれば、もっと明確に消化試合らしい選手起用をすればいい。カープの未来につながる若者たちの1軍起用も然り、そしてこれまでカープに尽くしてくれたベテラン勢たちの「記録」や「記憶」のための1軍起用も然り。

今カープに望むのは、球場まで足を運びたくなるような熱い試合を見せてほしいこと、つい話したくなるくらいのチーム力を見せてほしいこと、良いことで埋められるような記事を書かせてほしいことだ。



頑張れカープ！！

エルフォルクはあなたを そしてカープを 全力応援致します！

裏面もご覧ください。